

クラウドファンディングを活用した

岡山ふるさと投資応援事業



しあわせ届けるいちご農園
HappyComeCome
P6



有限会社五向園
P7



pain porte (パン・ポルト)
P8



sheens
P9



株式会社タケヤリ
P10

2019年度 採択事例集



ponte (ポンテ)
P11



結ファーム株式会社
P12



建部獣皮有効活用研究所
P13



アモルフ株式会社
P14



白菊酒造株式会社
P15

はじめに

岡山県及び岡山県中小企業団体中央会ではクラウドファンディングの仕組みを活用し、ふるさとの応援・成長に貢献する岡山県内の中小企業のビジネスプランを「岡山ふるさと投資応援事業」として選定し支援することで、地域経済の活性化や地域のブランド力の強化を目指しております。

岡山県内の地域資源や独創的な技術・アイデア等を活かした県内中小企業者の商品開発、新事業展開、事業拡大などのうち地域で頑張るふるさとの応援・成長に資する取組を発掘・選定し、広く県内外へ情報発信することにより、応援事業の認知度向上と応援者づくりを促進し、具体的には資金調達や専門家派遣、コンサルティング及び販路開拓等の各種支援を行うものです。

本冊子では、今年度当事業にて採択された事例を紹介しています。今後クラウドファンディングに取り組む中小・小規模事業者の皆様にとって参考となりましたら幸いです。

最後となりましたが、本事業の実施および事例集の作成にあたり、多大なご協力をいただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

令和2年3月吉日

岡山県中小企業団体中央会

目次 (掲載順不同)

- ・クラウドファンディングとは……………4
- ・岡山ふるさと投資応援事業について……………5

購入型クラウドファンディング 採択事例

- しあわせ届けるいちご農園 HappyComeCome ……6
- 有限会社五向園 ……7
- pain porte (パン・ポルト) ……8
- sheens ……9
- 株式会社タケヤリ ……10
- ponte (ポンテ) ……11
- 結ファーム株式会社 ……12
- 建部獣皮有効活用研究所 ……13
- アモルフ株式会社 ……14

投資型クラウドファンディング 採択事例

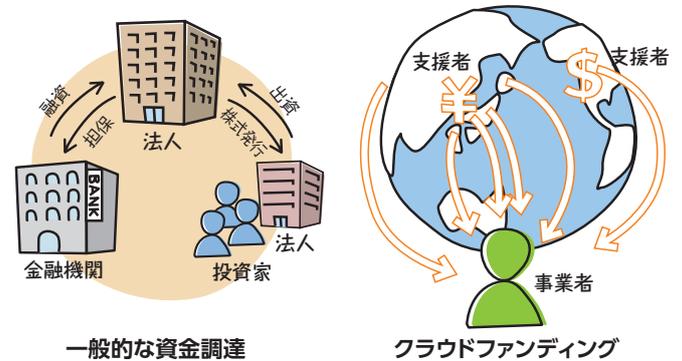
- 白菊酒造株式会社 ……15

wd Funding

クラウドファンディングとは

「クラウドファンディング (crowd funding)」とは、「群衆 (Crowd)」と「資金調達 (Funding)」をあわせた造語です。個人や企業、その他の機関が、インターネットを介して、個人から少額の資金を調達する仕組みであるとされています。

事業の賛同を得る事で、一般個人から少額の資金提供を受ける事が可能です。実施事業の賛同が得られない等、必ずしも資金調達が出来るとは限りません。しかし、実施する事業が全国の方々から共感を寄せられれば、大きな販路開拓につながる等、一般的な資金調達である融資や株式発行とは違ったメリット・デメリットが存在します。



クラウドファンディングはリターン (資金調達者から資金提供者への返礼) によって、いくつかの種類に分類されています。

	寄付型	購入型	投資型
	被災地支援や環境保全、社会問題解決等を目的とした、インターネットを通じて寄付を行う仕組みである。	資金提供者から前払いで集めた資金を元手に商品開発やサービスに着手する受注生産方式である。	個人が小口で事業へ投資する手法である。資金調達者の実施事業の売上が、資金出資者への分配原資となる。
特徴	<p>■資金提供者側</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金調達者からは、集まった資金使用の活動報告が行われ、進捗状況が確認出来る。 資金提供者への金銭的・物質的リターンが無い。 私的な不正利用を目的とした場合もあるため、見極めが必要。 <p>■資金調達者側</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動報告として、ニュースレターやメールの送付を行う場合が多い。 	<p>■資金提供者側</p> <ul style="list-style-type: none"> 金銭的リターンは無いが、完成した商品やサービスが提供される。 プロジェクトが成功するとは限らないため、失敗によりリターンが受けられない場合もある。 <p>■資金調達者側</p> <ul style="list-style-type: none"> テストマーケティングとして、企画した商品が市場にどれくらいの反響を及ぼすか確認する場合にも用いられる。 	<p>■資金出資者側</p> <ul style="list-style-type: none"> 資金出資者は、対象事業の売上に応じた分配金が支払われる。別途特典として、商品やサービスのリターンを受けることもある。 出資金の元本が割れる可能性がある。 契約期間は解約ができない。 <p>■資金調達者側</p> <ul style="list-style-type: none"> 匿名組合のスキームを用いているため、経営の自主性が保たれる。 調達額は比較的大きく、事業の運転資金や設備購入などの資金に活用される。 元本保証がない。
リターン	無し	商品・サービス	事業から得られる金銭
活用例	被災地支援、環境保全、社会問題解決等	新商品開発、開業資金、マーケティング等	設備購入資金、原材料購入、宣伝広告費等の運転資金等

岡山ふるさと投資応援事業について

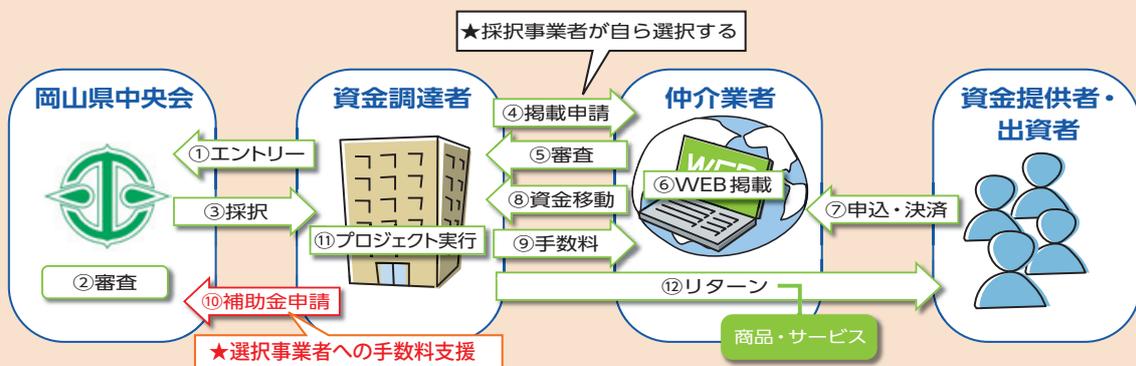
岡山県委託事業である当事業は、ふるさとの応援・成長に貢献する岡山県内の中小企業者のビジネスプランを成長・発展に導き、地域経済の活性化や地域のブランド力強化につながるよう支援するものです。

岡山県が有する地域資源や独創的な技術・アイデアなどを活かした県内中小企業者の商品開発、新事業展開、事業拡大への取り組みを、広く県内外へ情報発信することにより、応援事業の認知度向上と応援者づくりを促進しつつ、クラウドファンディングを活用した資金調達や専門家派遣、コンサルティング及び販路開拓等の各種支援を行います。

今年度、当事業では購入型又は投資型クラウドファンディングを活用した資金調達、販路開拓等の支援を実施しました。採択事業のPRの他、当会特設WEBページへの掲載や仲介業者への投資型クラウドファンディングのファンド組成に係る費用の一部負担、購入型クラウドファンディングの支払手数料助成等も支援メニューに含まれています。

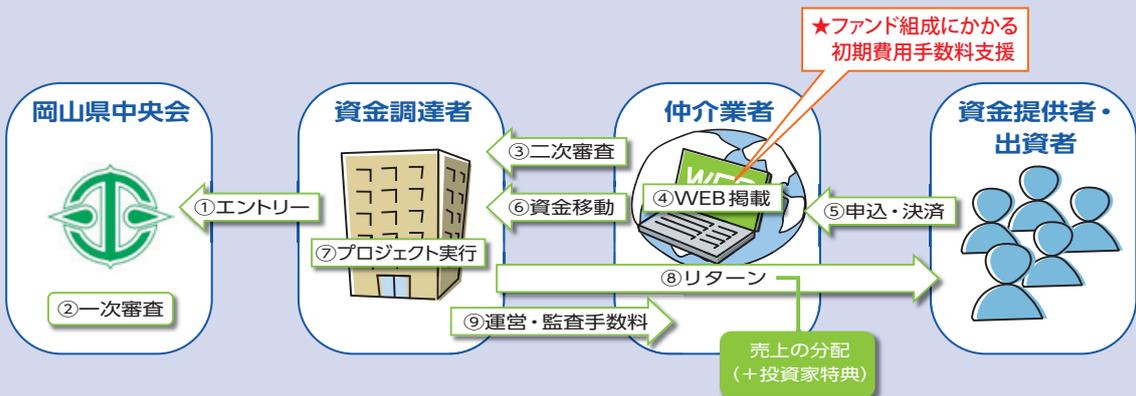
今年度の当事業の流れは以下のようになっています。

購入型クラウドファンディングについて



※手数料支援は満額調達した場合に限る。

投資型クラウドファンディングについて



※運営・監査手数料は採択事業者負担となる。

当会の特設WEBページは以下URLよりご覧いただけます。

<http://okayama-shokuhin.jp/crowd-funding/>



購入型 1

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

限界突破! 超高糖度のいちご「PrincessRouge」を ご賞味ください!

目標調達金額：500,000円



しあわせ届けるいちご農園
HappyComeCome

代表者：塚口 博之
所在地：岡山県笠岡市新横島6-87

プロジェクト概要



研究を重ね続けてできた、甘さの限界を超えたいちご「PrincessRouge」を
みなさんにお届けするためのプロジェクトです。

内容

岡山県の西部笠岡市にていちご農園を営んでいる塚口と申します。就農3年目で今期3作目のいちごを栽培しています。わたしどもの農園はもともとは「海」の上に干拓地として農場が広がっています。その大地は瀬戸内海のミネラルやエネルギーが豊富に含まれ、とても美味しいイチゴが育ちます。そのおかげもあり、初年度から共励会に入選し、地元スーパーなどを中心に、甘く大きい、美味しいイチゴを出荷しています。しかし、もっと美味しいイチゴを作りたい!と思い立ち、糖度を測定するも、15度、16度、18度……と、ここで頭打ちをしてしまいます。

試行錯誤を繰り返し、本来の姿のままにいかにして糖度を上げていくか苦慮し、研究を始めます。たくさんのイチゴ名人とお会いし、経験した事の共有、学識ある方からの御指導、スマート農業の追求、企業との共同研究など、短期間で手にした確かな技術を重ね、糖度20度越えのイチゴ「PrincessRouge」を開発しました。

私たちがいちご農園を始めたきっかけは障がいをもって生まれた一番下の子供が将来自立していける環境を農業で整えようと思った事でした。その子の名前は「幸せ来る」と書いてさきちゃんと申します。さきちゃんの名前を由来とした農園の名前「しあわせ届けるいちご農園 HappyComeCome」は私たちの想いでもあります。いちごを通してたくさんの人に幸せを届けたい。その願いから「PrincessRouge」は生まれました。たくさんの人たちの元へ届けることができれば幸いです。



リターン

3,000円
コース

至福の一品 ちょっとセブな
PrincessRouge 2Lサイズ 2P入り1箱

5,000円
コース

冬を彩るフルーツの女王様
PrincessRouge プレミアムSize2P入

8,000円
コース

冬を彩るフルーツのお姫様
PrincessRouge 30粒入り1箱



など

購入型 2

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

「実生在来種 岡山100年茶園」 地元のシンボル存続のために！ 自然農法プロジェクト

目標調達金額：300,000円



有限会社 五向園

当園主：難波 常平 難波 昭美
所在地：岡山県真庭市下方1311-1

プロジェクト概要



当プロジェクトでは地元のシンボルとして「実生在来種岡山100年茶園」を存続させるために、肥料・農薬には頼らず植物と土の本来持つ力を引き出す農業である「自然農法」にチャレンジし、その茶葉を使ったお茶の商品化を目指しました。

内容

当園は、イノシシが走り回り野生のウサギやキジが出没する岡山県の北にある自然豊かな真庭市美作落合の里山にあります。栽培しているお茶の約9割は「実生在来種」と呼ばれる種から育てて増やした日本人が昔から味わってきたお茶です。実生在来種の茶園には日本にお茶が伝わった平安時代より自然交配を繰り返し、同じものはひとつとしていない、さまざまな個性を持った大変希少な茶樹が混在します。そしてこの希少な実生在来種の茶園をこれからも存続させていくためには自然に寄り添った栽培が必要であると考え、「自然農法（農薬や化学肥料に頼らない農法）」への転換を図りました。その第一歩としてまずは茶園の雑草を刈り土に帰すということを今まで以上にしっかりとやっていこうと思っています。しかしながら、2ha以上の茶園の雑草を一人二人の手作業のみで処理するには限界があります。そこで今回のクラウドファンディングのプロジェクトを通じて「自走式草刈機」の導入を目指しました。



現在、いろんな方面で「在来」が見直されてきています。お茶においても実生の在来種は希少な存在です。この実生在来種を当園は守っていかなければいけないと考えています。厳しい自然環境の中、大地にしっかりと根を張り、それぞれの個性を持った茶樹が作り出す、たくましくも爽やかな心穏む田園風景を思わせるようなお茶、それが五向園のお茶です。今まで、幸運にも自然に近い状態で栽培してきた約100年の実生在来種のお茶の良さをここで見直し、これからも、さらには自然農法を目指した方法で、この希少な実生在来種のお茶を守り、また「釜炒り茶」の製造や「雁がねほうじ茶」「ラテ用ほうじ茶」の商品化にチャレンジしたいと思います。



2,000円
コース

陰ながら応援コース

3,000円
コース

いろいろお試しほうじ茶コース・「雁がねほうじ茶」「ラテ用ほうじ茶」単品コース

5,000円
コース

五向園バラエティコース

10,000円
コース

お茶摘みお茶作り体験コース・五向園スペシャルコース



20,000円
コース

しっかり応援イベントコース

購入型 3

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

西日本豪雨災害からの復興への感謝！ 真備町の新銘菓開発への挑戦

目標調達金額：300,000円



Pain Porte (パン・ポルト)

代表者：戸澤 実

所在地：岡山県倉敷市真備町箭田 1174-1

プロジェクト概要



西日本豪雨災害からの復興に際してご支援いただいた多くの方々への感謝を込めて真備町の新銘菓の開発に挑戦しました。真備町の特産品であるタケノコを使用した“マビレーヌ”と“タケノコクッキー”を開発するプロジェクトです。

内容

当店は開店以来、スタンダードな食パンからこだわりの調理パンまで幅広いラインナップの商品をひとつひとつ丁寧に作りご提供させていただいております。ありがたいことに地元真備町の方を中心にたくさんのお客様にご来店いただき、順調な経営を行うことができていました。しかし、2018年7月、西日本豪雨災害が発生し、当店も天井近くまで浸水、店舗は全壊の被害を受けました。

被災し事業継続ができるかどうか分からず途方に暮れていた中、自身も被害を受けた真備町の方が私を助けてくれました。本当にたくさんの方のご支援をいただき、おかげをもちまして被災から1年後の2019年7月には店舗をリニューアルオープンすることができました。このクラウドファンディングのプロジェクトは、被災からもういちど立ち上がるこ



のできた私が、支援をいただいた沢山の方々への感謝の気持ちと真備町の復興への願いを込めて、これまでになかった真備町の銘菓づくりに挑戦したものです。

挑戦を通じて地元真備町の方をはじめ、復興支援をいただいた多くの方達に少しでも感謝の気持ちを伝えることができればと思います。



3,000円
コース

マビレーヌとオリジナルラスク

6,000円
コース

タケノコクッキーとオリジナルTシャツ

10,000円
コース

シュトレンづくり教室とマビレーヌ

など



購入型 4

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

岡山果実の副産物で染めるワークシャツ、ストール、バッグ

目標調達金額：200,000円



sheens (シーズ)

代表者：小野 祐司
所在地：岡山県倉敷市帯高 501-4

プロジェクト概要



岡山果実の、副産物である枝木を草木染めの原料に使い、地元の手染めにこだわったオーガニックコットン×シルクのオリジナル生地のワークシャツ、シルクストールコットン、ショッピングバッグを制作するプロジェクトです。

内容

このプロジェクトはD2Cアパレルブランド『MIGO BROOM』の新たな挑戦となるクラウドファンディングです。

農家の方達がおいしい農産物を作る際にどうしてもでてしまう大量の廃棄物を何とか再利用できないかと考えた時に注目したのがその廃棄物に含まれる「色素」でした。近年、エシカル、サステナビリティ、エコロジーなどが注目されていますが、資源の無い国には元々「もったいない精神」という文化、メンタリティーがあります。この「もったいない精神」をアップデートしておしゃれに取り入れたいという想いから廃棄される農産物の剪定枝や搾りカスに含まれる色素を染料とした草木染製品を作ろうとしたのが今回の「カラーリユースプロジェクト」です。



廃棄される剪定枝でも美しい色に染められる事は大きな発見でした。草木染めは何度も重ねて染める事が出来



ます。草木染めを良く知っている方達は、草木染めの経年変化を楽しみ、色が褪せると、重ね染めするそうです。その度に新しい色を楽しみ、その服に対する愛着が増えていくのだと教えてくれました。プロジェクトでは岡山の特産品の桃とレモンの剪定枝、ヤマブドウジュースの搾りカスを使って染めたオーガニックコットン×シルクのオリジナル生地のワークシャツ、シルクストール、コットンショッピングバッグを制作します。

今回のプロジェクトは倉敷の繊維産業と日本の「もったいない精神」の伝統を受け継ぎ、新しい価値創造を目指したことが始まりでした。これをきっかけに草木染めに興味を持つ人が少しでも増えて下さると嬉しいです。

リターン

1,700円
コース

清水白桃染めコットンショッピングバッグ、檸檬染めコットンショッピングバッグ、山葡萄染めコットンショッピングバッグ

14,300円
コース

清水白桃染めシルクストール、檸檬染めシルクストール、山葡萄染めシルクストール

17,500円
コース

清水白桃染めシルク×オーガニックコットンワークシャツ、檸檬染めシルク×オーガニックコットンワークシャツ、山葡萄染めシルク×オーガニックコットンワークシャツ



など

購入型 5

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

自衛隊のテントにも使われる 技術を応用した超撥水帆布でつくる、 本格カメラバッグ

目標調達金額：1,000,000円



株式会社タケヤリ

代表取締役社長：武鐘 謙治
所在地：岡山県倉敷市曽原 414

プロジェクト概要



帆布の老舗タケヤリが超撥水加工技術を施した『タイガー帆布』を使った頑丈なカメラバッグづくりに挑戦するためのプロジェクトです。

内容

当社は創業 1888 年、帆布の一大産地である倉敷市で、希少なベルギー製シャトル織機「ピカノール」による高密度帆布を織り上げている帆布工場です。糸の整経から織り、検査に至るまでタケヤリの職人たちがしっかりとものづくりに関わり、高品質で上質な帆布を生み出しています。縫製はファクトリーブランドの立上げ時からお世話になっていて、確かな技術を持つかばんの産地豊岡の信頼のおける縫製工場へ依頼しています。

このように老舗としてこだわりの帆布を作り続けている当社が今回注目したのは近年のカメラ人気です。SNSによる情報発信が主流となった現代において若い人を中心に本格的なカメラを使用する人が増えてきています。今回のプロジェクトでは本格的なカメラを手軽に持ち運べるように、機能性だけでなくカッコ良さにもこだわったカメラバッグを作ることを目指しました。そのままでも強度の高い帆布素材の上に、自衛隊の



のウレタンを取り外せば大容量のバックパックとしてカメラバッグ以外にも使用可能と機能性・利便性・デザイン性の全てにこだわった製品づくりを行いました。老舗ならではの技術とアイデアで倉敷が誇る伝統産業である帆布の魅力を全国に発信することを目指しました。



13,200円
コース

カメラショルダーバッグ☆早割 20名さま

12,000円
コース

【スペシャル】カメラバックパック☆早割 10名さま

18,500円
コース

カメラバックパックとショルダーバッグセット☆早割 5名さま



など

購入型 6

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

こだわりの革と伝統の 畳縁のコラボレットの 開発

目標調達金額：300,000円



Ponte (ポンテ)

代表者：横山 健司
所在地：岡山県総社市宿429-3

プロジェクト概要



地元岡山の魅力を発信!児島の「畳縁」を使った本革財布!

内容

Ponteでは、「命を伝えるモノづくり」をテーマに、動物の命に対して感謝と敬意を忘れることなく、日々革製品の作製に励んでいます。「革」とはもともと「皮」であったという事をお客様に感じて頂きたい為、当社の革は薬品処理を施さず植物成分のみで作られた、非常に珍しい革を使用しています。創業当初は素材については国内で作られた牛革にこだわっていましたが、近年では岡山県美作市で駆除された鹿革の使用も始め、ラインナップも多様になってきました。さらにいずれは地元岡山ならではのモノづくりをと考えていた折に、「児島の伝統産業である畳縁を使ってみないか?」という話を知人から頂き、最初は畳縁と革のコラボレーションにピンとこなかった私でしたが、いざ畳縁という素材をみせられたら、これが!なんとまァ!畳縁が持つ日本らしいデザイン!どこか懐かしい独特の質感!この素材を革と組み合わせる



ことにより、ユニークなモノが仕上がると確信しました。

倉敷市児島を代表する産業になっている畳縁の中でも今回のプロジェクトでは、300種類以上の柄を持ち、様々なニーズに応えるため日々新しいデザインと素材の開発に挑戦し続け、繊維の街・児島で60余年に渡り畳縁を作り続けてきた、確かな技術力を持つ有限会社丸清織物の「倉敷りぼん」の畳縁を使用しました。

このプロジェクトから多くの方に当店自慢の革と児島の伝統産業の畳縁の魅力を伝えられればと考えています。



11,000円
コース 革×畳縁コラボ「ラウンドファスナーコインケース」

16,000円
コース 革×畳縁コラボ「ラウンドファスナーミニ財布」

33,000円
コース 革×畳縁コラボ「ラウンドファスナー長財布」



農業女子から あなたに届けたいキセキ。 白いきくらげの新たな挑戦



目標調達金額：500,000円

農地所有適格法人結ファーム株式会社

代表取締役：頼則 悦華
所在地：岡山県和気郡和気町宇生 497

プロジェクト概要



10,000分の1のキセキとも呼ばれる白いきくらげを育てる農業女子メンバーが、新たに「白いきくらげの加工品づくり」に挑戦するためのプロジェクトです。

内容

結ファーム株式会社は自然豊かな和気町で、2019年4月から「農業女子」メンバーを中心にとっても貴重な白いきくらげの栽培を行っています。全員20歳代でこれまで農業の経験が無かった私たちですが、真剣に農業に取り組んでいます。私たちが白いきくらげ栽培に挑戦するのは、はじめて白いきくらげを見た時の感動を、たくさんの人たちに伝えたいという想いがあるからです。

今回、加工品である“白いきくらげの佃煮”の開発に挑戦しました。白いきくらげをたくさんの人たちに知ってもらえるように、どのような加工品にしようかと考えた時、イメージしたのは昔ながらの日本の食卓でした。



おしゃれな洋風の加工品なども検討しましたが、やはり日常の中で家族が揃う食卓に並ぶことで、日々の生活の一部として白いきくらげが定着してほしい、そう願いを込めて佃煮に決めました。

社名「結ファーム」は、白いきくらげの栽培を通じて、食と人と地域を結ぶ存在でありたいと想いを込めて付けました。私たちが白いきくらげの栽培や加工品製造に取り組むことで、少しでも和気町の活性化に貢献できればと思います。

リターン

5,000円
コース

乾燥白きくらげ(規格外) 10g、佃煮1パック

10,000円
コース

乾燥白きくらげ(規格外) 10g、
結米(農業女子メンバーが育てたお米) 1合

など



購入型 8

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

森の生命(いのち)に感謝を捧げる、ジビエレザー活用への挑戦!

目標調達金額：300,000円

森の生命(いのち)に感謝を捧げる。

ジビエレザー活用への挑戦!

建部 建部獣皮有効活用研究所
有効活用 研究所

代表者：頼本 ちひろ

所在地：岡山県岡山市北区建部町宮地17

プロジェクト概要



不要として廃棄されていた野生の動物の皮を有効に活用するため、ジビエレザーの魅力を伝えるものづくりを拡大していくプロジェクトです。

内容

建部獣皮有効活用研究所はその名前の通り従前廃棄されていた獣の皮を「ジビエレザー」として有効に活用するため、岡山県建部町を拠点に革製品の製造販売や、ワークショップの開催を行っています。4年前から試行錯誤を続け、紆余曲折を経て2019年から本格的に事業としてスタートすることができました。現在はキーホルダーやアクセサリ等の小物を中心に製造・販売をしています。

実は数年前までは野生生物を捕獲することについては良く思いませんでした。元々東京で生まれ育った私にとって、野生生物は珍しいもので保護すべき存在だったからです。獣害対策として捕獲されたとしても大切な命を奪うことには変わりありません。田畑を守るために増えすぎてしまった野生生物を駆除することが仕方ないとはわかっていても、「かわいそう」と感じていました。そんなとき、あるきっかけで出会った猟師さんに捕獲された動物のその後を尋ねてみた際、猟師さんは静かな口調でこう言いました。「捕獲したら肉はできるだけ食べるようにしている。ちゃんと手をあ



わせて『いただきます』と言うんですよ。命をいただいたのだから」その言葉を聞いた時、自分の考えが浅はかだったことに気が付きました。モノが溢れた現代でいただいた命を大切にするその想いに共感しました。そしてそれまで廃棄されていた動物の皮を命の一部として利用するこの取り組みを始めました。



リターン

10,000円
コース

ジビエレザーのキーケース



この部分をオリジナルで作成します



25,000円
コース

早割価格 世界に一つ!
あなただけのオリジナル名刺ケース

など

購入型 9

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

町家で工房体験。 倉敷の布や素材でもんげー土産を シェアしたい!

目標調達金額：1,000,000円



アモルフ株式会社

代表取締役：佐藤 鏡文
所在地：岡山県倉敷市東町1-23

プロジェクト概要



デニムや帆布など岡山が誇る素晴らしい素材の魅力や職人の技術を多くの人に伝えるために倉敷美観地区にワークショップ体験型工房をオープンするためのプロジェクトです。

内容

当社は「日本の職人の技や知恵を伝える」をミッションに、多くの職人さんとの交流を通じて新たな商品を作り販売しています。その中で私が大切にしている想いは、現代までに受け継がれてきた伝統の技術や職人技というのは、「手を動かしていくこと」で、素晴らしい作品を生みだしているということです。しかし、現代においてはそのような職人の技や知恵に直接触れることのできる機会はとても少ないということもこれまでの活動の中で痛感してきました。そこで今回のプロジェクトでは素材や技術を直接体験できるワークショップの工房を作ることに挑戦しました。実際に観光客の方々に様々な素材を活用した自分だけの小物などを作るワークショップや、今までのアモルフの経験やスキルを集約した革製品作りの体験をしていただけるようにします。また、地域の方々の交流の場として、イベントや行事で使えるスペースとしても活用していきたいと思っています。



この新しいワークショップ工房での「体験」を通じて、この場を訪れる人々に岡山の地場産素材の良さや日本の職人の技術や知恵を実感していただく機会を設けるだけでなく、地域の方と観光客の方が交流する機会を生み出すなど地域の活性化にもつなげていきたい、そんな思いから今回のプロジェクトを立ち上げました。ぜひとも多くの方にお越しいただき、お土産+思い出作りを体験していただきたいと思います。



3,500円
コース

アモルフブックカバー
高級合成繊維
文庫 (A6) サイズ



3,000円
コース

アモルフビジネスバッグ

など



15,000円
コース

アモルフ倉敷オリジナル
マルチケース



投資型 1

「岡山ふるさと投資応援事業」2019年度 採択事例集

岡山の地酒 白菊酒造ファンド2019

目標調達金額：9,000,000円



白菊酒造株式会社

代表者：渡邊 秀造
所在地：岡山県高梁市成羽町下日名163番地1

ファンド概要



岡山県高梁市の白菊酒造の第5弾ファンドです。本ファンドの資金は、引き続きオリジナル酒米を含む県産酒米の購入費用等に活用し、全国、海外に向けた展開をさらに推進します。

1口金額	32,400円/口 (内訳：出資金30,000円 取扱手数料2,400円)
会計期間	2020年1月1日～2020年12月31日
資金使途	原材料費(酒米代、資材費等)9,000,000円
ファンド対象事業	清酒の製造販売事業

内容

今回の取り組みは従来どおり弊社の米へのこだわりへ対する高品質な原料の調達に加え、自社の造りについてのこだわりと、国内のみならず、海外へ向けた発信ができるよう将来を見据えた取り組みとして、きもと造りの取り組みを強化してまいります。世界の醸造酒は圧倒的にワインが主力となっていますが、その世界で言われる「テロワール」という言い方を日本酒でもされるようになってまいりました。このテロワールを意識した酒造りへのステップの一つとして日本酒製造の伝統的な手法「きもと」造りを10年来継続してまいりました。当社のきもとは米、水は地の物であることはもちろん、酵母さえも一般的な協会酵母を添加することなく当蔵に住み着くいわゆる「蔵付」酵母で醸しており、弊社の歴史からも創業当時の明治初期には良い米は既に「雄町米」があり、きもとで醸



していたという事を想像すれば、この取り組みが日本酒のテロワールとして体現できる手法の一つではないかと考えるからです。このように世界へ発信できる酒としてきもと造りへの挑戦をさらに続けてまいります。この取り組みをみなさまへ広くご紹介したいと思い、原料米の確保と生産の安定化、きもと造りにより「大典白菊のお酒を世界のお酒へ」を目指してまいりたいと考えております。



投資家特典

1口(32,400円)につき、岡山県産米使用の日本酒【2020年春】きもと仕込みの雄町米の純米酒新酒720mlを1本【2020年秋】きもと仕込みの雄町米の純米酒火入れ熟成酒720mlを1本合計2本を送付。(送料・税込約4,500円相当)白菊酒造オリジナルおちょこ1つ付き。



白菊酒造オリジナルおちょこ

発行

岡山県中小企業団体中央会
ものづくり・連携支援課

〒700-0817
岡山県岡山市北区弓之町4番19-202号
TEL.086-224-2245
